Avaya Aura® の Avaya J169 および J179 SIP IP 電話機のクイックリファレンス

リリース 4.1.x
版 1
2026 年 4 月

チャプター 1：メインメニュー

次の表に、Avaya J169/J179 IP 電話機で使用するメインメニューアイコンを示します。

注：

Avaya J169 IP 電話機 と Avaya J179 IP 電話機 のアイコンは似ていますが、Avaya J169 IP 電話機 はグレースケールアイコンで Avaya J179 IP 電話機 はカラーアイコンです。

アイコン	名前	説明
	機能	管理している機能にアクセスします。
	アプリケーション	• 連絡先、履歴、カレンダー、プレゼンス、スクリーンセーバーの有効化などの電話アプリケーションにアクセスします。 • 電話機からのサインオフ、設定の保護、他のユーザーのログインを実行します。
	設定	電話機の設定の変更、ボタンラベルのカスタマイズ、明るさの調整、オーディオ設定、スピードダイヤルエントリの割り当てなどを行います。
	ネットワーク情報	ネットワーク設定を確認します。
	管理	管理設定にアクセスします。
	詳細情報	電話機のソフトウェアバージョンを表示します。

チャプター 2：一般的な電話アイコン

次の表に、Avaya J169/J179 IP 電話機 で使用されるアイコンを示します。

> **注：**
>
> Avaya J169/J179 IP 電話機 のアイコンは似ていますが、Avaya J169 IP 電話機 はグレースケールアイコンで、Avaya J179 IP 電話機 はカラーアイコンになります。

アイコン	説明
	マイクはミュート状態です。
	未応答の通話があります。不在着信アイコンは、最近使用したアプリケーションに表示されます。
	電話の不在着信理由。不在着信の追加コンテキストを表示できます。
	着信通話で、この通話が応答済みであることを示します。着信アイコンは、最近使用したアプリケーションに表示されます。
	発信通話で、この通話が発信されたことを示します。発信アイコンは、最近使用したアプリケーションに表示されます。
	ブリッジ通話でこの回線が別の電話での通話に使用されていることを示します。
	着信について知らせています。
	発信通話で、この通話が発信されたことを示します。
	通話がアクティブです。
	通話が保留中です。
	会議通話または転送通話の設定中は通話が保留されます。
	会議通話がアクティブです。

アイコン	説明
	会議通話が保留中です。
	右または**左**のナビゲーション矢印を使用して、その他のページ、画面、オプションを表示します。
	左にスクロールして他のオプションを表示します。
	右にスクロールして他のオプションを表示します。
	このチームメンバーがアクセス可能であることを示すチームアイコン。
	このチームメンバーが通話中で応答できないことを示すチームアイコン。
	このチームメンバーは通話中ではないが、着信を不在転送していること示すチームアイコン。
	このチームメンバーは話中で、着信を不在転送していること示すチームアイコン。
	電話がコールサーバーに接続されておらず、フェイルオーバーモードで動作していることを示します。機能によっては利用できない、または正しく動作しない場合があります。 アピアランスラインにこのアイコンが表示されている場合は、電話にエラーが発生し、ユーザーが電話を切るまでメディアセッションが保持されることを示します。 このアイコンでは、電話機が通話サーバーに接続されていても機能が利用できないことも示しています。
	携帯内線機能がオンになっています。
	応答不可機能がオンになっています。
	離席機能がオンになっています。
	Send NN がオンになっています。
	不在転送機能がオンになっています。
	通話が広帯域コーデックを使用して優れた音声品質になっていることを示します。

アイコン	説明
	ネットワーク性能が低い、またはローカルネットワークの問題があるため、通話の品質が低下している可能性があります。
	同時通話数制限（LNCC）機能がオンになっています。
	SLA Mon™ エージェントによって電話が制御されていることを示します。
	SLA Mon™ で通話が記録されていることを示します。
	この通話の音声がセキュアであることを示します。
	着信の音声通知がオフになっていることを示します。
	Bluetooth 機能がオンになっていることを示します。
	不在着信があることを示します。アイコン内の数字は不在着信の数を示します。例のアイコンでは、エージェントは 9 件の不在着信があります。
	不在着信があることを示します。アイコンのプラス記号（+）は、不在着信が 9 件以上あることを示します。
	自動ダイヤル機能。
	市外通話。
	フリーダイヤル通話。
	発信者 ID 検証が完了しました。
	発信者 ID 検証失敗
	発信者 ID 検証が不明です。

チャプター 3：Wi-Fi アイコン

次の表に、Avaya J179 IP 電話機で使用される Wi-Fi アイコンを示します。

注：

Avaya J169 IP 電話機 では、Wi-Fi 機能はサポートされていません。

アイコン	説明
	セキュアでない Wi-Fi ネットワークが検出されています。
	セキュアな Wi-Fi ネットワークが検出されています。
	Wi-Fi ネットワークは圏外かオフラインです。

チャプター 4：基本的な操作

SSO QR コードまたは URL で電話にログインする

このタスクについて

モバイルデバイスまたはコンピュータを使用して、シングルサインオン（SSO）資格情報で電話にログインできます。電話管理者が内線番号に SSO 機能を設定します。SSO 認証後、電話に自動的にログインします。

前提条件

次のことを確認してください。

- 電話管理者が SSO 機能を設定している。
- モバイルデバイスで QR コードをスキャンできる。

手順

1. ［シングルサインオン］画面で、**ログイン**を押します。
   電話画面に QR コードとタイマーが表示されます。タイマーが切れて QR コードの有効期限が切れた場合は、**再試行**をタップします。
2. 選択したデバイスに応じて、次の操作を行います。
   - モバイルデバイスを使用している場合は、QR コードをスキャンします。QR コードをスキャンすると、モバイルデバイスに URL が表示されるので、その URL をタップします。
   - コンピュータを使用している場合は、**リンク**を押します。コンピュータのブラウザに URL を入力し、プロンプトに従います。

   画面に組織の SSO ログインページが表示されます。
3. SSO ログイン画面で、会社のユーザー名とパスワードを入力します。
   電話画面に認証成功のメッセージが表示されます。
4. 画面のプロンプトに従います。
   電話にログインしています。

SSO ログインでゲストユーザーとして電話にログインする

このタスクについて

ゲストユーザー SSO ログイン機能を使用すると、指定した期間、SSO 認証を使用してゲストユーザーとして電話にログインできます。

前提条件

管理者がゲストユーザー SSO ログイン機能を設定していることを確認します。

手順

1. **メインメニュー**を押します。
2. **アプリケーション**までスクロールして、**選択**を押します。
3. **ゲストログイン**までスクロールして、**選択**を押します。

4. シングルサインオンゲストログイン画面で、次のいずれかを押して期間を時間単位で設定します。
   - **右**矢印キー：時間の値を増やします。
   - **左**矢印キー：時間の値を減らします。
5. **Enter** キーを押します。
   電話画面に QR コードとタイマーが表示されます。タイマーが切れて QR コードの有効期限が切れた場合は、**再試行**をタップします。
6. 選択したデバイスに応じて、次の操作を行います。
   - モバイルデバイスの場合は、QR コードをスキャンします。QR コードをスキャンしたら URL が表示されるので、その URL をタップします。
   - コンピュータの場合は、**リンク**を押します。コンピュータのブラウザに URL を入力し、プロンプトに従います。

   画面に組織の SSO ログインページが表示されます。
7. SSO ログイン画面で、会社のユーザー名とパスワードを入力します。
   電話画面に認証成功のメッセージが表示されます。
8. 画面のプロンプトに従います。
   電話にログインしています。

会社の資格情報を使用して電話にログインする

このタスクについて

シングルサインオン（SSO）機能がアクティブになっていない場合、電話管理者が指定した内線番号とパスワードを使用して電話にログインできます。

手順

1. ログイン画面の**ユーザー名**フィールドに、内線番号を入力します。
2. **入力**を押します。
3. **パスワード**フィールドに、パスワードを入力します。
4. **入力**を押します。

電話機からログアウトする

このタスクについて

シングルサインオン（SSO）または SIP ログインからログインしている場合、プライマリ内線番号からログアウトできます。SIP ログインからゲストユーザーとしてログアウトすることもできます。

注：

ゲストユーザーがログアウトすると、電話はプライマリユーザーを再ログインさせます。

手順

1. **メインメニュー**を押します。
2. **アプリケーション**までスクロールして、**選択**を押します。
3. **ログアウト**までスクロールして、**選択**を押します。
4. 確認ウィンドウで、**ログアウト**を押します。

電話機をロックする

このタスクについて

ログイン中に電話をロックすると、不正使用を防止できます。電話をロックしてもログアウトされません。すべての着信通話を受信し、緊急電話番号に発信できます。

> **注：**
>
> 管理者が着信通話のブロック機能を有効にしている場合、電話がロックされている状態では着信通話に応答することはできません。

電話でシングルサインオン（SSO）機能がアクティブになっている場合、PIN を設定しないと電話をロックできません。

前提条件

アプリケーションメニューに**ロック**オプションが表示されない場合は、電話管理者にお問い合わせください。

手順

1. **メインメニュー**を押します。
2. **アプリケーション › ロック**を選択します。

チャプター 5：操作

スピードダイヤルを使用して通話を発信する

前提条件

スピードダイヤル番号が連絡先に割り当てられていることを確認します。

手順

電話をかける番号に割り当てられたダイヤルパッドキーを長押しします。

緊急通話を発信する

前提条件

緊急ソフトキーが管理者によって割り当てられていることを確認します。

手順

以下のいずれかを行います。

- 電話画面で、**緊急**ソフトキーを押して、電話に確認メッセージが表示されたら、**緊急**をもう一度押します。
- ダイヤルパッドを使用して緊急電話番号をダイヤルします。

通話中に別の通話に応答する

このタスクについて

コールアピアランスが応答可能な場合にのみ、2 番目のコールアピアランスで通話を受信できます。

手順

以下のいずれかを押します。

- **応答**ソフトキー
- **OK ボタン**

最初の通話が保留になり、2 番目の通話に接続されます。

アクティブな通話に相手を追加する

このタスクについて

参加者をアクティブな通話に追加して、会議通話を設定できます。

前提条件

通話を開始します。

手順

1. 通話中に、電話画面で**次へ › 会議**を押します。

対応中の通話が保留されます。

2. 参加者に発信するには、次のいずれかの操作を行います。
   - ダイヤルパッドを使用して内線番号をダイヤルします。
   - 連絡先リストまたは履歴リストから相手に電話をかけます。
3. 3 番目の参加者が通話に応答したら、**参加**ソフトキーを押します。
4. 他の参加者を追加する場合は、**追加**を押して、手順 2 と 3 を繰り返します。

関連情報

Making Conference Calls（ビデオ）

連絡先

履歴通話リストから連絡先を追加する

このタスクについて

この手順を使用して、通話履歴から連絡先リストに番号を追加します。

手順

1. **履歴**を押します。
2. 必要な番号までスクロールして、**＋連絡先**を押します。
3. **名**および**姓**フィールドに、該当する情報を入力します。

   電話機で内線番号が**姓**に割り当てられます。このフィールドから内線番号を削除したり、その他の情報を追加したりできます。
4. **保存**を押します。

ローカルの連絡先グループを作成する

手順

1. **連絡先**を押します。
2. **(オプション) メインメニュー**から移動するには、次の操作を行います。
   a. **アプリケーション**までスクロールして、**選択**を押します。
   b. **連絡先**までスクロールして、**選択**を押します。
3. **グループ**を押します。
4. **新規グループ**を押します。
5. **グループ名を入力**フィールドで、グループ名を入力します。
6. **保存**を押します。

拡張機能

携帯内線を使用した携帯電話への不在転送

このタスクについて

この手順を使用して、Avaya デスクフォンから個人用電話に通話を転送します。

前提条件

- 管理者がこの機能を有効にしていることを確認します。
- システム管理者が、自分の個人用電話番号を転送先番号として設定していることを確認します。

手順

1. **メインメニュー**を押して、**機能**までスクロールします。
2. **選択**を押します。
3. **携帯内線**までスクロールして、**選択**を押します。

優先通話をかける

このタスクについて

優先コール機能を使用して、特殊な内線通話アラートでユーザーに通知します。発信者が優先コールを使用すると、着信者には特別な呼び出し音が聞こえます。

応答不可が有効になっている内線番号でも呼び出し音が鳴ります。

前提条件

管理者が機能実行ターゲットの選択を有効にしていることを確認します。

手順

1. **メインメニュー**を押します。
2. **機能**までスクロールして**選択**を押します。
3. **優先コール**までスクロールして**OK**を押すか、対応するラインボタンを押します。
   転送先を選択ダイアログボックスが表示されます。
4. 次のいずれかを実行して、優先順位として設定する番号を入力します。
   - **ダイヤル**ソフトキーを押してダイヤルパッドを使用し、番号を手動で入力します。
   - **連絡先**、**履歴**、**電話**ボタンを押して、リストから番号を選択します。
   - **ブラウザ**ソフトキーを押して、ブラウザアプリケーションから転送先番号を選択します。
   - **自動ダイヤル**、**話中表示**、**チーム**ラインキーを押して、転送先の番号を選択します。

   優先順位機能が有効になります。
5. 手動でダイヤルする場合は、**Enter** または**OK**を押して機能を有効にします。
6. **(オプション)** 優先コールをキャンセルするには、**キャンセル**ソフトキーを押します。

ボイスメールを聞く

このタスクについて

この手順を使用して、電話のボイスメールを聞きます。

前提条件

- システム管理者によって内線番号のボイスメールが設定されていることを確認します。
- システム管理者からボイスメールのユーザー ID とパスワードを取得します。

手順

1. ボイスメールにログインするには、**メッセージ**ボタンを押します。
2. 音声プロンプトに従ってボイスメッセージを再生します。

メインメニューを使用して優先通話を発信する

手順

1. **メインメニュー**を押します。
2. **アプリケーション**までスクロールして、**選択**を押します。
3. **コール優先度**を選択します。
4. 優先順位の選択画面で、優先レベルを選択します。
5. 次のいずれかから内線番号をダイヤルします。
    - **連絡先**
    - **履歴**
    - ダイヤルパッド

ブリッジ回線のコールに参加する

手順

電話機で、次のいずれかを行います。

- 通話中にラインボタンを押します。
- アクティブなブリッジ回線番号を選択して**ブリッジ**を押します。

> **注：**
>
> ブリッジ回線で通話に参加する場合は、**ヘッドセット**、**ハンドセット**、**スピーカー**ソフトキーは使用しないでください。**ヘッドセット**、**ハンドセット**または**スピーカー**を押すと、ダイヤル画面が開きます。ダイヤルをキャンセルして、該当するラインボタンを押してその通話に参加するには、**ヘッドセット**、**ハンドセット**、**スピーカー**ソフトキーをもう一度押します。

打ち合わせ付き転送を行う

このタスクについて

転送先の受信者と通話を接続して通話を転送します。

前提条件

管理者がこの機能を有効にしていることを確認します。

手順

1. アクティブな通話中に、**転送**ソフトキーを押します。
   電話に転送先を選択ダイアログボックスが表示されます。

   最初の通話が保留されます。
2. 次のいずれかを実行してから**通話**ソフトキーを押します。
   - 通話を転送する番号をダイヤルします。
   - **連絡先**または**履歴**で番号を検索します。
   - **チーム**ラインキーを押して、設定したチームボタンに通話を転送します。

   ターゲット選択として使用するチームボタンを設定する必要があります。
3. 打ち合わせ付き転送を開始するには、**通話**を押します。
   通話転送の受信者の電話が鳴り始めます。
4. 以下のいずれかを行います。
   - 受信者が通話に応答したら**完了**を押します。

     通話転送が完了します。これは着信仲介転送とも通話ばれます。
   - 受信者の番号で着信音が鳴り始めたら**完了**を押します。

     通話転送が完了します。これは着信ブランド転送とも通話ばれます。

ブラインド転送を行う

このタスクについて

この手順を使用して転送先の受信者に通話を接続せずにアクティブな通話を転送します。

前提条件

管理者がこの機能を有効にしていることを確認します。

手順

1. 通話中に、**転送**を押します。
   電話機に転送先を入力画面が表示されます。
2. 次のいずれかを実行してから**通話**ソフトキーを押します。
   - 転送する通話の番号をダイヤルします。
   - 連絡先または履歴リストで番号を検索します。
3. ブラインド転送を開始するには、**いますぐ**を押します。
   通話転送が完了します。

通話をパークする

このタスクについて

コールパークを使用して、電話の内線番号からアクティブな通話をパークします。

前提条件

管理者に連絡して、内線番号でコールパークをアクティブにします。

手順

1. **メインメニュー**を押します。
2. **機能**までスクロールして**選択**を押します。
3. **コールパーク**までスクロールして、**選択**を押します。
   サーバー設定に応じて、機能 LED に次のいずれかのインジケータが表示できます。
   - 緑色の LED が点灯し、コールパークが完了したことを示します。緑色の LED は、通話がパーク解除されるか、通話が戻されるまで点灯したままになります。
   - 管理者がパーキングロット表示タイマーを設定すると、緑色の LED が点灯し、コールパーク機能ボタンに特定の時間パーキングロットの内線番号が表示されます。この時間が経過すると、コールパークボタンはパークで使用できるようになります。

Next Steps

パーク解除を使用して別の内線番号から通話を取得します。設定された時間内にパーク解除されない場合、パーキングロットは通話をパーク内線番号に戻します。

通話をパーク解除する

このタスクについて

パーク解除を使用してパーク通話を取得します。

前提条件

管理者に連絡して、内線番号でパーク解除をアクティブにします。コールをパークする内線番号を取得します。

手順

1. **メインメニュー**を押します。
2. **機能**までスクロールして**選択**を押します。
3. **パーク解除**までスクロールして、**選択**を押します。
4. 内線番号を入力して**選択**を押します。
   通話が再開され、パーク内線番号のコールパーク LED がオフになります。

カスタマイズ

電話表示モードを変更する

このタスクについて

表示モード機能を使用すると、電話表示モードを［ダーク］または［ライト］に変更できます。表示モードを［ライト］に設定すると、フォントの色は黒になります。表示モードを［ダーク］に設定すると、フォントの色は白になります。

前提条件

表示モードを変更する設定が表示されない場合は、電話管理者にお問い合わせください。

手順

1. **メインメニュー**を押します。
2. **設定**までスクロールして、**選択**を押します。
3. **表示**までスクロールして、**選択**を押します。

4. **表示モード**までスクロールして、**選択**を押します。
5. **切り替え**を押すと、**ライト**と**ダーク**が切り替わります。
6. **保存**を押します。

関連情報

Modifying your Display Mode（ビデオ）

Bluetooth を有効/無効にする

このタスクについて

お使いの電話機で Bluetooth 対応デバイスを使用できます。

> **注：**
>
> Avaya J169 IP 電話機 では Bluetooth 機能をサポートしていません。

前提条件

ワイヤレスモジュールが電話機にインストールされていることを確認します。

手順

1. **メインメニュー**を押します。
2. **設定**までスクロールして、**選択**を押します。
3. **Bluetooth**までスクロールして、**選択**を押します。
4. **Bluetooth ヘッドセット**までスクロールして、次のいずれかを押します。
   - **切り替え**：Bluetooth を有効/無効にします。
   - **右矢印**キー：Bluetooth を有効にします。
   - **左矢印**キー：Bluetooth を無効にします。

> **注：**
>
> 一部の Bluetooth ヘッドセットでは、電話の再起動後の最初の通話中に音量を調整できます。ポップアップパネルのスライダーを右に動かすと音量が上がり、左に動かすと音量が下がります。

Bluetooth 対応ヘッドセットと電話機とのペアリング

このタスクについて

電話には最大 6 個の Bluetooth 対応ヘッドセットをペアリングできますが、一度に使用できるヘッドセットは 1 個だけです。使用可能なデバイスとペアリングされたデバイスのリストが表示されます。

前提条件

- ワイヤレスモジュールが電話機にインストールされていることを確認します。
- 管理者がこの機能を有効にしていることを確認します。
- Bluetooth ヘッドセットがペアリングモードになっていることを確認します。

手順

1. **メインメニュー**を押します。
2. **設定**までスクロールして、**選択**を押します。
3. **Bluetooth**までスクロールして、**選択**を押します。
4. **デバイス**までスクロールして、**選択**を押します。
   Bluetooth 対応デバイスのリストがスキャンされて表示されます。
5. デバイスをペアリングするには、ヘッドセットまでスクロールして、**ペアリング**を押します。
6. ペアリングしたヘッドセットを切断するには、ペアリング済みデバイスで、**切断**を押します。
7. ペアリングしたヘッドセットのペアリングを解除するには、ペアリング済みデバイスで、**破棄**を押します。

関連情報

Pairing a Bluetooth Headset to the J179 Phone（ビデオ）

電話キーをカスタマイズする

このタスクについて

この手順を使用して、電話画面から連絡先、機能、アプリケーションを追加、ラベル変更、移動、削除します。

前提条件

管理者が［フル］または［制限付き］カスタマイズモードを設定していることを確認します。［ブロック済み］モードでは電話キーをカスタマイズできません。また、［制限付き］モードではラベル、連絡先、アプリケーションのお気に入りをカスタマイズできます。

手順

1. **メインメニュー**を押します。
2. **設定**までスクロールして、**選択**を押します。
3. **電話**までスクロールして、**選択**を押します。
4. **電話キーのカスタマイズ**までスクロールして、**選択**を押します。
   ［カスタマイズ］メニューは［ブロック済み］モードでは利用できません。
5. **カスタマイズ**キーを押します。
6. **ナビゲーション**キーを使用して、ラインキーを選択します。
7. **(オプション)** 電話画面で選択したラインが空白の場合は、**追加**を押して、次の操作を行います。
   - 連絡先を追加するには、**連絡先**を押します。

- 機能を追加するには、**機能**を押します。

  このオプションは、［制限付き］モードでは利用できません。
- アプリケーションを追加するには、**アプリケーション**を押します。

ナビゲーションキーを使用して該当する機能までスクロールして、**選択**を押します。

8. 選択したラインキーを移動するには、次を行います。
   a. **移動**を押します。
   b. ［ナビゲーション］キーを使用して、選択したラインキーを移動します。
   c. **(オプション)** 新しい場所が空の場合は、**選択**を押します。
   d. **(オプション)** 新しい場所にすでにキーが割り当てられている場合は、**切替**を押します。
9. 新しいラベルを設定するには、次を行います。
   a. **ラベル変更**を押します。
   b. ラベル名を入力します。
   c. 母国語で拡張ラテン文字または非ラテン文字を使用する場合は、**次へ › 記号**ソフトキーを押して記号メニューを開き、必要な文字を選択します。**挿入 › 次へ › 保存**を押します。
10. キーを削除するには、**削除**を押して、削除を確定します。

関連情報

Customizing line keys（ビデオ）

ネットワークモードを設定する

このタスクについて

この手順を実行して、電話のネットワークモードを**イーサネット**または特定の**Wi-Fi**ネットワークに設定します。

Avaya J169 IP 電話機 では、Wi-Fi 機能はサポートされていません。

前提条件

ネットワーク管理者からこのタスクを実行するためのアクセス権が付与されていることを確認します。

手順

1. **メインメニュー**を押します。
2. **設定**までスクロールして、**選択**を押します。
3. **ネットワーク**までスクロールして、**選択**を押します。
4. **ネットワークモード**までスクロールします。
5. 次のオプションから**ネットワークモード**を選択します。
   - **イーサネット**：電話をイーサネットネットワークに接続します。
   - **Wi-Fi**：電話を Wi-Fi ネットワークに接続します。
6. 以下のいずれかを押します。

- **切り替え**
- **右**矢印キー
- **左**矢印キー

7. **保存**を押します。
8. 電話で再起動が求められたら、**OK**を押すか**キャンセル**を押して前に戻ります。

Wi-Fi ネットワークに接続する

このタスクについて

この手順を実行して、電話を特定の Wi-Fi ネットワークに接続します。

Avaya J169 IP 電話機 では、Wi-Fi 機能はサポートされていません。

前提条件

- ネットワーク管理者からこのタスクを実行するためのアクセス権が付与されていることを確認します。
- ネットワークモードとして Wi-Fi を選択します。
- ネットワークモードを設定する場合は、SSID を書き留めます。これは、電話が接続を試みる Wi-Fi ネットワークの名前です。
- ネットワーク管理者が Wi-Fi の非表示機能を有効にしていることを確認します。

手順

1. **メインメニュー**を押します。
2. **設定**までスクロールして、**選択**を押します。
3. **ネットワーク**までスクロールして、**選択**を押します。
4. 利用可能な Wi-Fi ネットワークのリストにアクセスするには、**Wi-Fi ネットワーク**までスクロールして、**選択**を押します。
   電話に非表示の Wi-Fi ネットワークを含む、利用可能なすべての Wi-Fi ネットワークが表示されます。
5. 接続する**Wi-Fi ネットワーク**までスクロールしてから**接続**を押すと接続プロセスが開始されます。

   これで非表示の Wi-Fi ネットワークに接続できます。
6. 電話機を再起動するには**OK**を押します。
7. セキュリティが WEP または WPA/WPA2 PSK の場合は、**パスワード**に、Wi-Fi ネットワークのパスワードを入力します。

   Wi-Fi ネットワークのセキュリティのタイプに応じて、必要な資格情報を取得します。詳細についてはネットワーク管理者に連絡します。
8. セキュリティが 802.1x EAP の場合は、次のように入力します。
   - **ID**：ユーザー ID または管理者から提供された共有ユーザー ID。
   - **匿名 ID**：空白のままにするか、管理者から提供された共有の匿名 ID を使用します。
   - **パスワード**：パスワードまたは管理者から提供された共有パスワード。

結果

正常に認証されると、電話が自動的に再起動して接続が完了します。

背景画像を変更する

このタスクについて

この手順を使用して、電話のプライマリディスプレイの背景画像を設定します。

また、管理者が必要な設定を行っている場合は、Avaya J100 拡張モジュール（JEM24）モジュールのプライマリディスプレイと同じ背景画像を使用できます。JEM24 ディスプレイには、プライマリディスプレイの背景に加えられた変更が反映されます。プライマリディスプレイのカスタム背景画像を選択すると、JEM24 にはデフォルトの Avaya デバイス画像が表示されます。

手順

1. **メインメニュー**を押します。
2. **設定**までスクロールして、**選択**を押します。
3. **表示**までスクロールして、**選択**を押します。
4. **背景**までスクロールして、**選択**を押します。
5. **プライマリディスプレイ**までスクロールして、**選択**を押します。
6. 新しい画像までスクロールします。
7. **(オプション)** 画像をプレビューするには、**プレビュー**を押してから、**戻る**を押します。
8. **選択**を押します。
9. **保存**を押します。

ボタンのクリック音をオン/オフにする

手順

1. **メインメニュー**を押します。
2. **設定**までスクロールして、**選択**を押します。
3. **オーディオ**設定までスクロールして、**選択**を押します。
4. キーのプッシュ音までスクロールし**切り替え**を押して、音声をオン/オフにします。
5. **保存**を押します。

カスタマイズ着信音を設定する

このタスクについて

この手順を使用して、さまざまな用途の着信音を設定します。

手順

1. **メインメニュー**を押します。
2. **設定**までスクロールして、**選択**を押します。
3. **オーディオ**設定までスクロールして、**選択**を押します。
4. **着信音をカスタマイズ**までスクロールして、**選択**を押します。
5. 次のいずれかのオプションまでスクロールします。
   - **プライマリ**
   - **チームキー**
   - **ブリッジ CA**

- **コールピックアップ**

6. **選択**を押します。
7. 着信音までスクロールして、**選択**を押します。
8. **(オプション)** 着信音を鳴らすには、**再生**を押します。
9. **保存**を押します。

表示言語を設定する

手順

1. **メインメニュー**を押します。
2. **設定**までスクロールして、**選択**を押します。
3. **表示**までスクロールして、**選択**を押します。
4. **言語**までスクロールして、**選択**を押します。
5. 言語までスクロールして、**選択**を押します。
6. 電話機に確認のメッセージが表示されたら、次のいずれかを押します。
   - **確認**
   - **キャンセル**

   表示画面に戻り、選択した言語に変更されます。

時刻フォーマットを設定する

前提条件

管理者がお使いの電話でこの時刻形式機能を有効にしていることを確認します。

手順

1. **メインメニュー**を押します。
2. **設定**までスクロールして、**選択**を押します。
3. **表示**までスクロールして、**選択**を押します。
4. **下矢印**キーを使って時刻フォーマット画面に移動します。
5. **切り替え**を押して、次のオプションのいずれかを選択します。
   - **24 時間時刻形式**
   - **12 時間時刻形式**
6. **保存**を押します。

チャプター 6：サポート

ユーザーガイド、管理者用ガイド、インストールとメンテナンスガイド、インタラクティブ ドキュメントおよびソフトウェアのダウンロードを含む最新のサポート情報は、www.avaya.com/support にあります。